

1. 件 名：国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力専攻の事業者
防災訓練報告について

2. 日 時：令和5年7月11日 9:30～10:05

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

蔦澤防災専門職、本間防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

国立大学法人東京大学大学院工学系研究科原子力専攻

主査

5. 要 旨

国立大学法人東京大学から、令和5年2月24日に実施した同大学大学院工学系研究科原子力専攻の原子力事業者防災訓練について、配布資料に基づき、防災訓練実施結果報告の概要等の説明があった。

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 第2部訓練の評価におけるモニタリング訓練について、測定自体が模擬で状況付与のためであるならば、情報収集訓練の一部として整理した方がいいのではないか。情報収集訓練の一部として整理する際には、測定場所の選定についても記載すること。
- ・ 第2部訓練の評価における広報訓練について、ERCへの広報文の送付とすること。
- ・ 第2部訓練の評価における応急措置訓練について、実動がないのであれば、訓練項目として削除すること。
- ・ 前回訓練時の改善点への取り組み結果について、改善が終了したのであれば、結果の部分に完了と記載すること。

国立大学法人東京大学から、本日の面談を踏まえて防災訓練実施結果報告書を精査し、取りまとめた後に提出するとの説明があった。

6. その他

配布資料

資料 1：防災訓練の結果の概要（総合訓練）（国立大学法人東京大学）